

共通点検・評価チェックリスト

政府統計コード	00600545
基幹・一般の別(選択記入)	その他の一般統計調査
調査の名称	全国都市交通特性調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> その他
特記事項	

点検・評価項目	点検・評価事項等 (選択記入)	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
		「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、 その概要等(選択・自由記入)		対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
1 調査の目的	整合	結果の利活用実態 (特記事項)	その他( )			
2 調査対象の範囲※	整合	調査対象地域 その他( ) (特記事項)	調査対象産業			
3 報告をを求める個人又は法人 その他の団体(報告者)の数等※	整合	母集団情報 全数層・抽出層の設定 その他( ) (特記事項)	抽出方法・抽出基準 対象数の算定			※報告をを求める世帯について、計画：15.2万世帯→実績：16.3万世帯となった。(計画と実績の差は7%強であり、「軽微な変更」と考えている)
4 報告を求める事項及びその 基準となる期日又は期間※	整合	調査票 調査期日・期間 (特記事項)	調査事項 その他( )			
5 報告を求めるために用いる 方法※	整合	調査方法 民間委託の範囲 (特記事項)	調査系統・組織 その他( )			
6 報告を求める期間※	整合	調査実施期間(始期・終期) 調査の周期 (特記事項)	調査票の提出期限 その他( )			
7 集計事項※	不整合あり	<input type="radio"/> 未集計 復元推計 (特記事項)	<input type="radio"/> 未公表 その他( )	その他	対応中/対応予定	承認を受けた集計事項59表中6表が全部未公表、21表が一部未公表であり、そのうち全部未公表であった6表中の4表及び一部未公表であった21表中の15表については追って追加公表を行う。 なお、残りの8表については、集計・公表の可能性について引き続き検証を行う。
8 調査結果の公表の方法及び 期日※	整合	公表実施時期 e-statの掲載 その他( ) (特記事項)	公表媒体 閲覧表			※公表時期については、関係者との調整や集計スケジュールの変動により、速報：計画に定める公表期日から約1ヶ月遅延、確報：計画に定める公表期日から4ヶ月前倒しとなった。(「軽微な変更」と考えている)
9 使用する統計基準	整合	独自基準の採用 その他( ) (特記事項)	独自基準の説明			
10 調査票情報の保存期間及び 保存責任者	整合	保存期間 保存方法 (特記事項)	保存責任者 その他( )			
11 立入検査 (基幹統計調査のみ)		立入検査対象事項 (特記事項)	その他( )			
12 不整合は生じていないものの、 改善を検討(予定)している事項		検討(予定)している事項の有無 (選択記入)	検討(予定)している事項の概要 (自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
		なし				

(注) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施。

II 必要な精度の確保・向上の観点	1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
		精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択 (複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
	達成精度(実績精度)	500世帯/1都市	H11	H27 43,700世帯/70都市 ⇒平均625世帯/1都市	H22 38,000世帯/70都市 ⇒平均542世帯/1都市	H17 32,000世帯/62都市 ⇒平均516世帯/1都市	
	回収率・回答率	目標有効回収世帯数(500世帯)は、都市圏規模別の5目的・5交通手段別の交通特性を把握するために必要なデータ精度を確保するためのサンプル数。					
	○ 回収標本数						
	カバレッジ						
	その他						
	設定なし						